

1. 開会 議事録署名人は、名簿に従って依頼された。

2. 会長挨拶

3. 学長挨拶

4. 議長選出

5. 会務報告

1) 庶務報告

理事会 6回開催(1/18、2/8、3/14、4/11、5/24、6/11)

代議員総会 本日開催(6/29)

学会会員数6,905名

・終身会員 6,728名 [内新入会47名] ・年度会員 128名 ・単年度会員 6名 ・名誉会員 43名
新入会員の入会が承認された。

2) 編集報告 神奈川歯学発行状況

発行状況 ・59巻1号 学会ホームページで電子データ公開。

閲覧には会員専用ID/PW必要。不明な方は事務室へお問合せ下さい。

・59巻2号 8月投稿〆切

学会HPに電子データ公開 閲覧に会員専用ID/PW必要。不明な方は学会事務室へ問合せ下さい。

神奈川歯学 外部査読について

分野や提出時期の偏りなど査読業務の負担が増加→外部査読を導入し、負担減を図る

論文著者がカバーレターに外部査読者を記載 <投稿規定>推奨する査読者については、可能な限り記載する。学内査読者2名、学外査読者2名について、所属、氏名、Eメールアドレス、推薦理由を記載すること。また、査読除外者がある場合は記載すること。

3) 学会報告

開催報告

・第58回総会 2023年11月25日(土) 現地開催: 第一小講堂・小講堂ホール

授賞式/特別講演 /ポスターディスカッション: 30題/学位論文公聴会: 5題/県立横須賀高校スーパーサイエンス
ハイスchool研究発表 ジュニアリサーチとして2つのグループにポスター発表して頂きました 記帳者 111名

・第172回例会 2023年10月12日(木) 演題5題/参加者: 47名

・第173回例会 2024年2月8日(木) 演題1題/参加者: 26名

お知らせ (予告)

・第174回例会 10月3日(木) 7月中旬～演題募集開始

・第175回例会 12月5日(木) 10月中旬～演題募集開始

・第176回例会 R7年2月13日(木) 12月中旬～演題募集開始

賞および研究助成受賞者

研究努力賞: 本間 優太(クラウンブリッジ補綴学分野 助教) / Student Award: 応募なし / 令和8年度宿題報告:
畠中 玲奈(歯科矯正学分野 助教) 「歯科医師のキャリア形成に関する研究」 / 堀研究奨励賞: 黒田 英孝(歯科

麻酔学分野 講師)・坂口 和歌子(環境病理学分野 准教授)「口腔顔面の交感神経依存性疼痛におけるストレスマーカーの関与」/ 優秀論文賞: 檜垣賞(基礎部門): 中島 知佳子(小児歯科学講座 助教)「Progress of LPS-induced apical lesion in rat immature mandibular molars」、川村賞(臨床部門): 奥脇 都子(歯科矯正学分野臨床専攻生)「An Observational Study on Changes in the Oral and Gut Microbiota through Professional Mechanical Tooth Cleaning, including Tooth-Brushing Instructions in Patients with Multi-Bracket Appliances」臨床研究賞(研究部門): 応募なし/検討委員により選出され理事会にて承認された
令和6年度神奈川歯学論文賞: 原田 隆史(口腔外科)「マウス歯髄幹細胞を用いた骨再生技術開発のための基礎的研究」前年発行の神奈川歯学掲載原著論文より自動エントリー 神奈川歯学編集委員会で審査し、1編を表彰
令和6年 Young Investigator Award 選考結果(学生会員に対して学術研鑽の意欲を向上させる事を目的。例会での発表) ALTANBAGANA NANDIN UCHRAL(社会歯科学): 第173回例会(令和6年2月8日) 選考委員(基礎系6名)、(臨床系6名)により選考の上理事会にて承認された

4) 談話会報告

開催報告: 3件

4月5日(金) 横浜市立大学 田野 島玲大先生「大学における臨床研究支援組織(ARO)の役割」参加者24名 担当教室: 横浜クリニック / 4月8日(月) 麻布大学 島津 徳人先生「ヒトと展示動物における歯周病原性細菌の交差感染」参加者21名 担当教室: 環境病理学分野 / 6月6日(木) 昭和大学 代田 達夫先生「顎変形症におけるコンピュータ支援手術—矯正歯科と口腔外科における医療情報の共有—」参加者57名

予告

7月23日(木) 東北大学大学院 齋藤 正寛先生「顎骨の免疫と破壊」会場: キャンパスセンター多目的ホール 担当教室: 口腔生化学 /

予算: 現地開催 10万円/オンライン開催 5万円。講師の方には可能な範囲での総説寄稿を依頼 今年度は学外談話会も検討しております。

5) 同窓会学術報告

神奈川歯科大学同窓会連携事業: 大学支部学術交流会 7月2日(火) 18時 附属病院12階講堂

神奈川歯科大学学会発足60周年を迎えるにあたり、神奈川歯科大学同窓会との連携強化と会員も共有できるよう情報交換の場を設ける。

同窓会学術による学術講演会 予告

7月28日(日) 横浜クリニック&WEB講演 玉置 勝司 先生「これからの歯科医療における協働アプローチが国民の健康を増進する」/ 9月8日(日) 横浜クリニック&WEB講演 奥野 幾久 先生「これからの欠損補綴を考える—無歯顎症例を中心に—」/ 11月10日(日) 横浜クリニック&WEB講演 青島 徹児 先生「Posterior Adhesive Restorations A to Z—Direct から Overlay Restoration まで」/ 2025年1月26日(日) 横浜クリニック&WEB講演 奈良 嘉峰 先生「歯周組織再生療法 成功のためのストラテジー」詳細は同窓会事務室までお問合せ下さい

6. 審議事項

1) 第30期学会理事選挙 選挙管理委員長より報告がなされた

投票期間: 令和6年4月11日(木)より4月23日(火)

開票日時: 令和6年4月24日(水) 16時20分より 1号館4階 学会事務室

選挙管理委員 委員長1名(代議員)/ 委員2名(代議員)

有権者数：57名 投票者数：53名 投票率：93.0%

学会理事 7名、監事 2名

2) 第30期学会理事役職 会長、研修（同窓会関係）兼 副会長、庶務、学会（例会学術大会）、渉外（研究談話会）、編集（神奈川歯学）、会計、監事2名 任期：2024年6月～2026年6月

3) 令和6年度 事業計画案

会長より事業計画案について説明がなされた

「学術交流事業」4回の学術集会を開催。特に本大会は年末から6月に移行する。本大会1回：本日 例会3回：10月3日、12月5日、2月13日

神奈川歯科大学同窓会との連携強化、情報交換を行う。神奈川歯科大学支部との交流を開始し、特に若手教員や医員、横浜クリニック構成員との連携を深め、学会活動の活性化を目指す。本部同窓会連絡会・大学支部学術交流会：7月2日実施予定

三浦半島中高生研究コンテスト開催事業：本学教員と地域中高校生との研究を通じた交流を行い、理科教育の推進をはかると同時に神奈川歯科大学の周知をはかる。コンテスト：1回、9月7日実施予定

「研究支援事業」研究助成事業を行い神奈川歯科大学における研究の支援を通じて学会活動の活性化を行う

「在学生支援事業」本学会の構成員は、神奈川歯科大学の在校生が多く在籍しており、学生の研究環境や勉学環境を支援することで、神奈川歯科大学学会の存在を周知する。タダコピー支援、Student Award

「学術講演会事業」学内談話会開催 10件、学外談話会開催 10件

「雑誌発行事業」神奈川歯学刊行事業：59巻1.2号、神奈川歯学論文賞

「神奈川歯科大学学会60周年記念事業」

4) 令和5年度決算報告及び監査報告

会計担当理事より収支の報告がなされた

監査報告

令和6年6月1日に監事2名、会計担当理事にて令和5年度の収支決算各項目について監査を行った結果、正確かつ適正であったとの報告があり承認された。

5) 令和6年度予算案に関する件

会計担当理事より令和6年度予算案について説明がなされた

6) その他

議長の先生へのお礼と学会の保有資金および今後の活動について会長よりスピーチがなされた。

全ての議題審議事項を議長より議場に諮ったところ、それぞれが出席代議員の半数を超える賛成の挙手を得たことを確認し、決議した。

7. 閉会